

岩手県大船渡市、岩手県陸前高田市、岩手県住田町
 人口：64,944人、24,855世帯（平成27年3月末現在）
 就業人口：34,733人（平成22年10月1日現在）、域内GDP：不明（平成23年）
 面積：890.04km2（うち森林面積759.45km²）

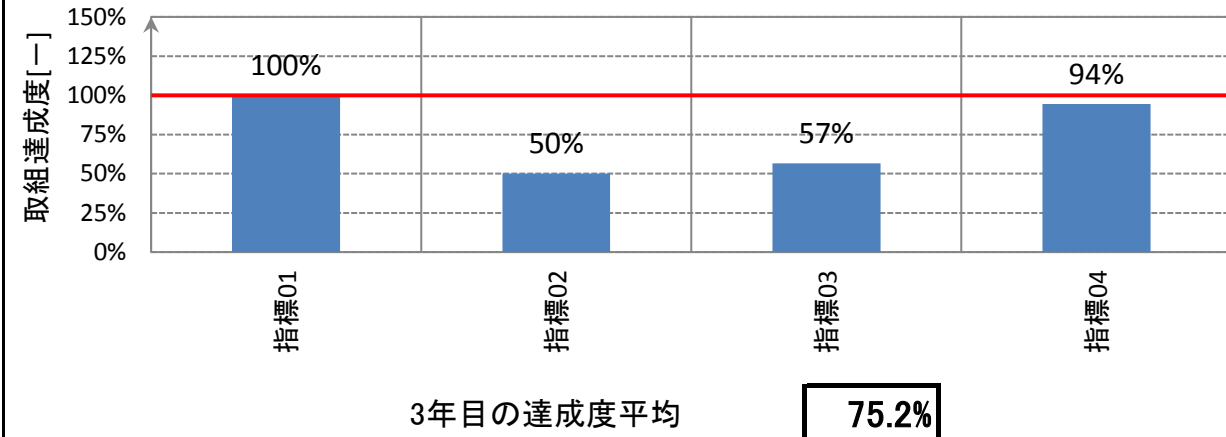
取組進捗評価結果（都市による自主評価に基づく達成度）

Q1. 環境的価値

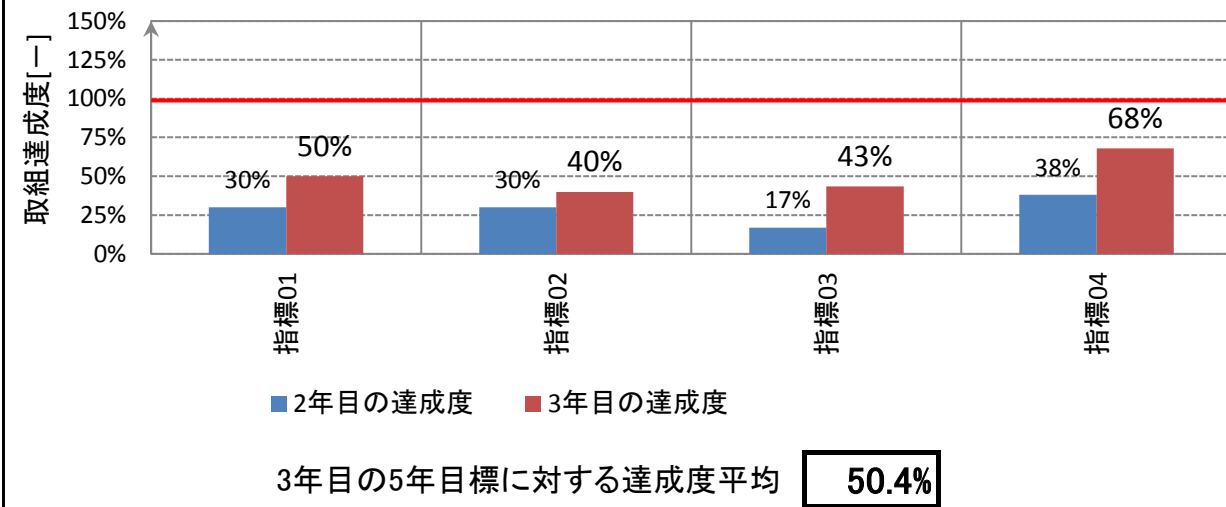
Q2. 社会的価値

Q3. 経済的価値

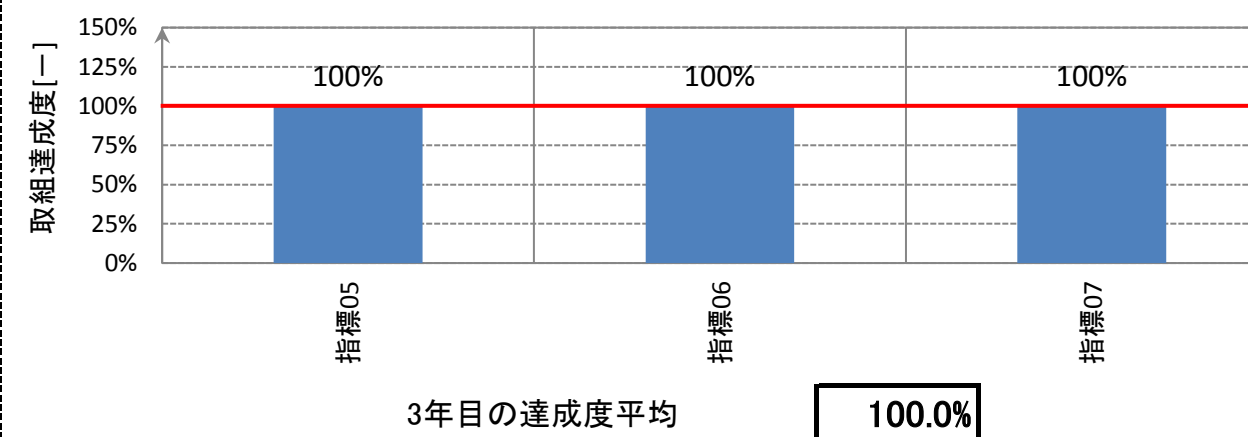
1年毎の目標値に対する達成度



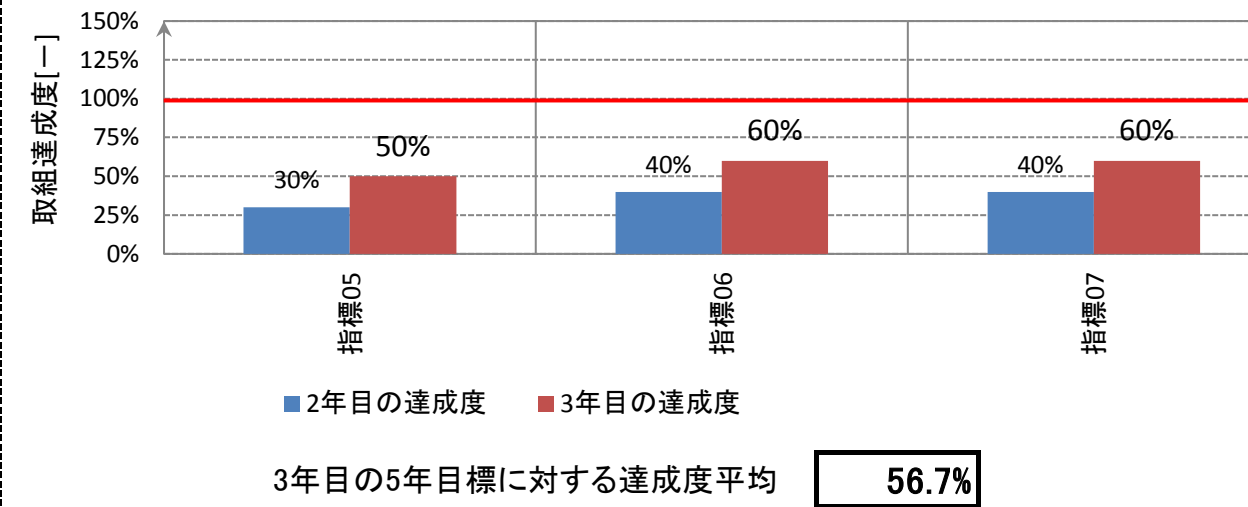
5年後の目標に対する達成度



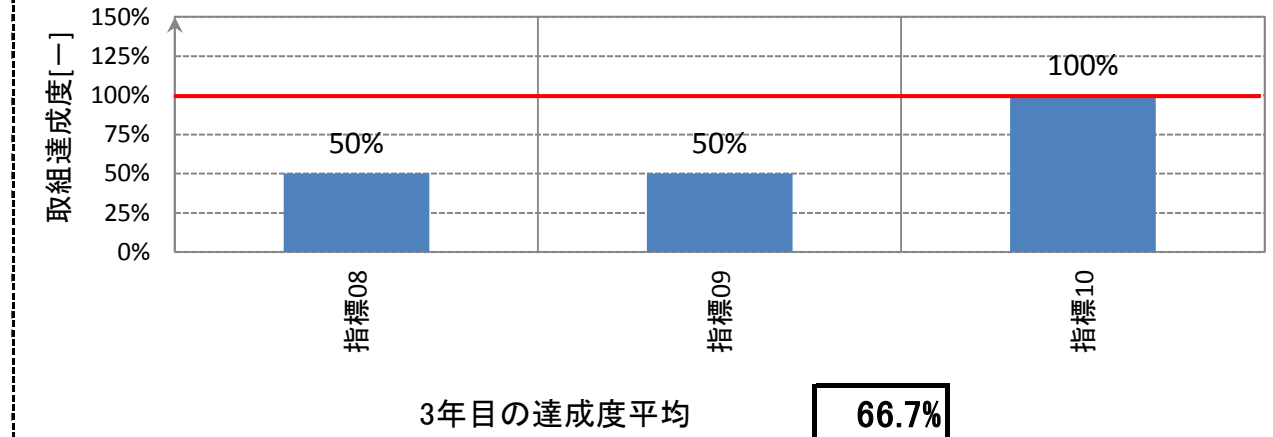
1年毎の目標値に対する達成度



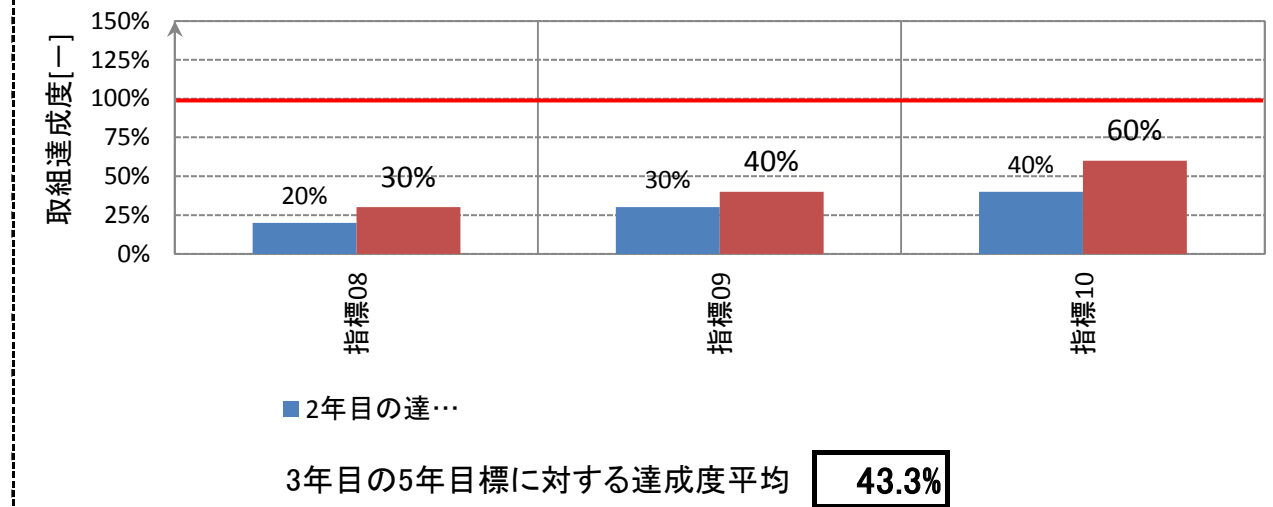
5年後の目標に対する達成度



1年毎の目標値に対する達成度



5年後の目標に対する達成度



指標番号	指標名	Q4.特記したい事項（国際展開・都市間連携等）	平成26年度の取組総括
指標01	再生可能エネルギー発電所の整備		環境・エネルギーの分野では、18MW規模メガソーラーに関し、平成27年夏の本稼働開始の目途が立つとともに、バイオマスなど太陽光以外を含めた再生可能エネルギーの活用について、事業化を目指した調査検討を進めた。 高齢化対応の分野では、これまで気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会で協議・検討を進めてきたが、地域医療ICTシステムの導入を図るため、当該システムの管理運営母体となる一般社団法人化に向けた作業を進めた。 取組項目によっては、大きな進展が見られなかったものもあるが、これまでの成果を生かしつつ、復興事業の進捗と整合を図りながら、環境未来都市計画の推進にあたっていく。
指標02	ハイブリッド・エネルギー供給システムの構築		
指標03	再生可能エネルギーを活用した公共施設数		
指標04	住宅用太陽光発電システム設置に対する補助金交付件数		
指標05	コンパクトシティモデルの整備		
指標06	交通弱者向け移動手段の整備		
指標07	医療・福祉・介護の先進的連携モデルの創出		
指標08	再生可能エネルギー関連産業の振興		
指標09	再生可能エネルギーなどを活用した農業及び水産業の振興		
指標10	気仙環境共生型木造住宅生産・供給体制の確立		
			委員からの取組全体に関する評価
			別紙参照

委員からのコメント【気仙広域】

- 医療、福祉、介護の広域連携は素晴らしい。それ以外の活動は低調である。自己評価が甘い。
- 指標7は極めて先進的な成果を上げているが、他の取組は遅れている。広域連携の難しさがあるが、引続き努力してほしい。
- より客観的な評価ができる指標を用いることが望ましい。特に経済的評価について、再検討していただきたい。
- 医療介護については二次医療圏対応し、公立病院改革にも対応し、適切に実施されている。取組1～4、9、10は産業化への道筋が見えにくい。
- 総務省の「自治体主導による地域エネルギーシステム」の実践公募に提出して欲しい。
- 種々の取組を地道に進めている。達成は半ばではあるが、今後に期待したい。産業の振興への取組が明確ではない。
- 地域医療連携ICTシステムは、将来の技術(例:モバイルやユビキタス)を見据えたものにしたい。
- 全体的に達成度の認識が甘く、指標の見直しが必要。メガソーラ以外について、早期にコンセプトの具体化が望まれる。
- 地域連携を促進するための仕掛けや工夫などが必要と思われる。具体的なアクションプランを作って推進してほしい。
- 社会価値、リチウム産業などの根幹的な試みが定性的な評価にあり正しく進捗が評価できていないことが懸念されます。特にコンパクト都市や再生エネルギーの活用は実際の復興の進捗を適正に評価できる指標を検討いただくことも必要であると感じます。
- AMSは、完全にどこかに委ねるのではなく、理解して外と共に進むべき。藤沢SSTや横浜がAMSの参考になると考える。また、広域協力が薄いと感じる。現時点で協力が得られないのであれば、単独でも前に進むという選択肢もある。
- 都市整備に関して(指標05、06)着実に進捗しているように伺える。産業振興に関する進捗が定性評価でもあり見えにくい。

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成27年5月22日

作成者（部署／氏名）： 大船渡市環境未来都市推進室／新沼晶彦

承認者（部署／氏名）： 大船渡市環境未来都市推進室／新沼徹

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	気仙広域環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	気仙広域環境未来都市計画書及び取組別票	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	気仙広域環境未来都市推進共同推進事業体規約	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	気仙広域環境未来都市計画別紙プロジェクトごとの体制図(コーディネーター併記)	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	気仙2市1町環境未来都市担当部課長会議	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	被災地6都市連携関連に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。	環境未来都市(被災地)都市間情報交換会	✓	
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。	気仙広域環境未来都市計画書	✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	気仙広域環境未来都市推進共同事業体運営委員会	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	プロジェクトチームの体制図	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	大船渡市文書取扱規定を準用	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	大船渡市文書取扱規定を準用	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	各自治体のウェブサイト	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(具体的な回数、2回/年など)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	気仙広域環境未来都市計画書及び取組別票	✓	
	定期的(具体的な回数、2回/年など)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	気仙広域環境未来都市計画書	✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	気仙広域環境未来都市計画書及び自己チェックリスト	✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	気仙広域環境未来都市推進共同事業体運営委員会	✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている	環境未来都市評価結果シート	✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。	気仙広域環境未来都市推進共同事業体運営委員会	✓	
⑧その他				

是正処置への対応の詳細

--	--

代表者による確認

なし(※是正処置なし)

推進委員会による確認

	特にご意見なし
--	---------